

平成29年度 聖徳大学 教員免許状更新講習 選択必修講習

講習の名称	講習日程	対象	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	認定番号
【選択必修】主体的・対話的で深い学びを実現するアクティブ・ラーニングの視点	平成29年6月4日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	学習指導要領等に基づき育成すべき資質及び能力を育むための習得、活用及び探究の学習過程を見通した指導法の工夫及び改善	アクティブ・ラーニングによる主体的・対話的で深い学びの実現が期待されている。本講習では、①アクティブ・ラーニングの意義、②アクティブ・ラーニングを実現する授業改善の視点、③アクティブ・ラーニングの実践と評価について、講義及び受講者の意見交換などにより学びを深める。	廣嶋 憲一郎(大学院教職研究科教授)	6時間	平29-90005-300196号
【選択必修】道徳教育の転換を理解する	平成29年6月4日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	道徳教育	平成27年3月27日に「道徳」にかかわって学習指導要領の一部改正が行われました。本講座では、主に、総則に位置付けられた「道徳教育」について、①改訂の経緯と要点、②内容の取扱いに関する共通事項、道徳教育推進上の配慮事項などに焦点を当てて理解を深めます。併せて、道徳教育と「特別の教科 道徳」との関連も考察します。	吉本 恒幸(大学院教職研究科教授)	6時間	平29-90005-300197号
【選択必修】楽しく学ぶ小学校英語	平成29年6月4日	小学校	英語教育	グローバル化する世界が進展する中、小学校英語の重要性が問われている。そこで、本講座では、教師自身が児童と共に楽しみながら指導する力を付けることを目的に、①「外国語活動」の概要や背景となる理論、②今後の英語教育の方向性、③授業の進め方(モジュール学習を含む)とアクティビティや絵本の扱い方、④クラスルームイングリッシュ、等についてワークショップやDVD・電子黒板等も活用しながら授業を進める。	一ノ瀬 喜子(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300198号
【選択必修】子どものための教育相談	平成29年6月4日	幼稚園	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	教育相談とは、一人ひとりの子どもの成長と個性的適応を手助けすることを目的とし、子どもの感じ方や考え方に近づいて、問題の解決と自律への援助を個別に対応するものと考えられます。今回の授業では、教育相談の体制作りや、子どもが気持ちを語る環境作りを学びます。そして不登校の種類やいじめの把握を事例から理解します。またクラスを育てる「対人関係ゲーム」や絵本による子どもの理解に取り組む予定です。	鈴木 由美(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300199号

【選択必修】園における危機管理上の課題、組織的対応の必要性	平成29年6月4日	幼稚園	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	学校・園で起こる危機は、教育課程内外での事故、感染症被害、虐待、保育者同士のトラブル、自然災害等、多岐にわたる。危機はいつでも、どこでも、どの園においても起こり得ることであり、教職員の意識の向上が求められている。そこで、各園における安全教育の在り方について理解を深め、危機管理上の課題を明確にし、組織的に対応するための具体的な方策について学びます。	重安 智子(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300200号
【選択必修】園における危機管理上の課題、組織的対応の必要性	平成29年8月22日	幼稚園	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	学校・園で起こる危機は、教育課程内外での事故、感染症被害、虐待、保育者同士のトラブル、自然災害等、多岐にわたる。危機はいつでも、どこでも、どの園においても起こり得ることであり、教職員の意識の向上が求められている。そこで、各園における安全教育の在り方について理解を深め、危機管理上の課題を明確にし、組織的に対応するための具体的な方策について学びます。	重安 智子(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300201号
【選択必修】学校、家庭並びに地域の連携及び協働	平成29年6月4日	幼稚園	学校、家庭及び地域の連携及び協働	まず、ミドルリーダーとして中堅教員がどう自己開発をし、組織内の人間としてどのように連携・協働すればよいかを考える。次に、「小学校・保護者・地域との連携・協働の必要性や具体的な方法」を学んでいく。また、近年の文部科学省の教育改革の中で、どのような改革が求められているかを学ぶ。さらに、実際の連携の事例から、地域との連携・小学校との連携の方法と課題を考えていく。	古川 寿子(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300202号
【選択必修】学校、家庭並びに地域の連携及び協働	平成29年8月22日	幼稚園	学校、家庭及び地域の連携及び協働	まず、ミドルリーダーとして中堅教員がどう自己開発をし、組織内の人間としてどのように連携・協働すればよいかを考える。次に、「小学校・保護者・地域との連携・協働の必要性や具体的な方法」を学んでいく。また、近年の文部科学省の教育改革の中で、どのような改革が求められているかを学ぶ。さらに、実際の連携の事例から、地域との連携・小学校との連携の方法と課題を考えていく。	古川 寿子(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300203号

【選択必修】児童・生徒のための教育相談	平成29年8月21日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	教育相談とは、一人ひとりの児童・生徒の成長と個性的適応を手助けすることを目的とし、児童・生徒の感じ方や考え方に近づいて、問題の解決と自律への援助を個別に対応するものと考えられます。今回の授業では、教育相談の体制作りや、児童・生徒が気持ちを語る環境作りを学びます。そして不登校の種類やいじめの把握を事例から理解します。またクラスを育てる「対人関係ゲーム」や絵本による児童・生徒の理解に取り組む予定です。	鈴木 由美(児童学部教授)	6時間	平29-90005-300204号
【選択必修】進路指導及びキャリア教育	平成29年8月21日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	進路指導及びキャリア教育	学校教育における進路指導及びキャリア教育の充実がますます重要になってきている。本講座では、小・中・高校での進路指導及びキャリア教育の意義や役割、授業での進め方等について再確認する。その上で、キャリア教育で育成すべき「基礎的・汎用的能力」等について考察し、キャリア教育を効果的に進める指導方法・指導力量を身につける。授業はプリントを配付し、講義を中心に進めるが、協議や話し合いも積極的に取り入れて進める。	壺内 明(元児童学部教授)	6時間	平29-90005-300205号
【選択必修】学校における危機管理	平成29年8月21日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	学校における危機管理の課題を明確にし、教員としてどうすべきか、具体策を学習します。特に、近年、学校で起こりがちな具体例を取り上げ、国の動向を踏まえながら、組織的対応の必要性などについて学習します。	金子 英孝(大学院教職研究科教授)	6時間	平29-90005-300206号
【選択必修】すぐとなりの私、私の中の他人－異文化理解概論－	平成29年8月22日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	国際理解及び異文化理解教育	グローバル化、異文化理解、多文化共生といった言葉が溢れかえる現代において、文化が多様であり、それらに対して寛容であることはすでに常識です。しかしまた、その「常識」が、ともすれば上辺だけの振り舞いに陥りがちであることは、現代の課題点であると言えます。本講義では、国家、民族、世代、ジェンダーなどの視点から文化の衝突の具体例を取り上げ、概念と共に分析することにより、文化とは何か、そして他者を理解することと教育がどのように関わっているのかを考え、教室における授業運営や指導に活かす方法を考えます。	平沼 公子(文学部講師)	6時間	平29-90005-300207号

【選択必修】教育法規の再検討—体系的理解のために—	平成29年8月22日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	法令改正及び国の審議会の状況等	この講義では、まずわが国の法体系の中に占める教育法規の位置と意義について考察します。次に子どもを取り巻く状況と環境の変化を踏まえ、現代社会における子どもの権利について、受講者の皆さんと検討します。そして最後に最新の法改正と審議会の状況を説明します。もって皆さんの教育法規の体系的理解を推進する台座を構築します。	小田桐 忍(児童学部児童学科長補佐)	6時間	平29-90005-300208号
【選択必修】我が国の教育の情報化の動向と今後のICTを活用した学習指導及び情報教育の在り方	平成29年8月22日	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)	我が国の教育の情報化の動向について、教育の情報化の実態調査結果の分析を通して考察する。次に、全国の学校現場で展開されているICTを活用した学習指導の内、特に、教師がデジタル教科書、電子情報ボード等を用いる授業、及び、児童生徒にタブレット端末を一人一台活用させる授業等に焦点を当て、ICT等を活用した学習指導の在り方について、今後の方向性について検討する。併せて、情報活用能力及び情報モラルを身に付けさせるための情報教育の在り方及びプログラミング教育についても検討する。	南部 昌敏(大学院教職研究科長)	6時間	平29-90005-300209号
【選択必修】次期教育課程改訂の内容—中高教育実践との関連を踏まえて—	平成29年8月22日	中学校 高等学校	学習指導要領の改訂の動向等	現在、次期教育課程の基準となる学習指導要領の改訂作業が進められ、その内容は平成30年度以降順次、幼小中高等学校において実施される。改訂では知識基盤社会やグローバル社会において求められる資質・能力はどうあるべきかを検討した上で、それを実現する学習指導要領の構造、新たな教科・科目の在り方、既存の教科や科目の内容や指導方法等が見直されている。講義では、これらの改訂内容を中高の教育実践との関連で取り上げる。	西園 芳信(聖徳大学兼任講師)	6時間	平29-90005-300210号
【選択必修】幼稚園教育要領改訂及び認定こども園の理解	平成29年8月21日	幼稚園	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	現在、情報化・国際化の進展に伴い、子どもを取り巻く社会が変化している。講習では、①各園の子どもの現状と課題を探る、②21世紀を生きる力について考える、③幼稚園教育要領の改訂内容を理解する、④認定こども園の現状と課題を理解する、⑤保幼小の円滑な接続の在り方を考える。以上を中心に、グループワークを交えて行なう。	篠原 孝子(大学院教職研究科教授)	6時間	平29-90005-300211号